



きくちさんデー

3月

いちご

「きくちさんデー」では、菊池地区で生産される旬の食材を紹介します。

菊池市七城町の原さんのいちご畑におじゃましました。原さんはいちご作りを始めて20年になるそうです。毎朝4時半からいちごを収穫されています。朝早く寒い時間に収穫した方が甘いいちごになるそうです。おいしいいちごをねらって、タヌキやキツネなどの動物や鳥、虫がたくさん来るので、いちごを守りながら育てるのに苦労されているそうです。



生産者の原さん

5月から8月に苗作りを行い、9月末から10月に苗を畑に植えつけます。



畑の土が乾いたら、水やりをします。水をやりすぎないのがポイントだそうです。



いちごの花は2月から5月に咲きます。花びらが5枚あり、白くて丸い小さな花です。かわいい花ですね。



開花後、細い茎が伸び、その先にできる新芽は、次のいちごの苗として育てられます。



クイズに挑戦!

<もんだい>

いちごはどこから食べると良いでしょう?

- ①よこ
- ②下の細いところ



答え ①よこ

いちごは下の細いところが1番甘いので、よこから下にむかって食べると、おいしく食べられます。